



おおひら

議会だより

No.209

令和8年7月30日

発行



宮城県
大衡村議会



P2 6月定例会
P5 一般質問
P13 行政視察研修

自然とからだ動きだす
ジャズコン
(美術館コンサート)

補正
予算無線放送更新
実施設計に着手

補正の主なもの

◎歳入

ふるさと納税寄附金 …… 150万円
村債 …………… 1,050万円

◎歳出

無線放送更新実施設計委託料
…………… 1,050万円
デマンド交通車両ラッピング …… 150万円

令和8年第2回定例会は、6月2日から4日までの3日間にわたり開かれた。
村長提出案件は、同意12件、承認1件、条例一部改正3件、令和8年度予算の補正3件、専決処分報告5件、報告1件の全25議案が提出され、全て原案のとおり可決された。

主な質疑

無線放送設備更新

問 無線放送設備の更新事業の実施設計委託の仕様内容と工事スケジュールは。

答 令和8年度に実施設計業務を発注し、設備更新工事は令和9年度から10年度に行う予定。

デマンド交通

問 デマンド交通車両へのラッピングの内容は。

答 ふるさと納税企業からの寄附金を充当して、デマンド交通車両3台にラッピングする。



新たな水処理プラント（上北沢排水処理場）

上北沢・樫田処理施設

問 新方式の本格稼働に伴い今後の指定管理施設の運営方針は。

答 現在の施設管理体制をどこまで維持できるか不透明であり、今後の実証試験の結果により対応を検討していきたい。

ウッドチップパー

問 ウッドチップパーの修繕に90万円計上しているが、現在、機械の状態と貸し出しは可能か。

答 現在エンジンが動かない状態であり、多くの方の申込みがあり、早急に修理を行い貸し出ししていく。

企業版ふるさと納税 令和7年度大幅な伸び

補正の主なもの

◎歳入

地方交付税 …………… 2,567万円
ふるさと納税寄附金 …………… 1,169万円
基金繰入金 …………… △3,610万円

◎歳出

企業立地促進奨励金 …………… 1,551万円



多くの企業から寄附をいただきました

ふるさと納税

問 令和7年度ふるさと納税の件数と寄附金額はいくらか。

答 個人の寄附金が105件、210万円、企業の寄附金が10件、1410万円であり、合計115件、金額は1620万円となっている。

主 な 質 疑

問 ふるさと納税寄附金を充当した事業内容は、寄附金も使途を明確にしてPRに努められたい。

答 村ウェブサイトにニューアル、ひら麻呂グッズ、大衡塾の経費に充当した。企業には今後も働きかけをしていきたい。

学校給食費

問 物価高騰により今回も追加補正だが、今後の見通しをどう考えているのか。

答 食材の物価高騰が収まらないことから、状況に応じた補正が必要と考える。

地方債

問 地方債の補正で普通貸借または証券発行や利率が5%以内とあるが、具体的内容で記入すべきではないか。

答 令和7年度は、普通貸借で借入金利は3%であった。今年度は借入金利等が確定していないため、5%以内としている。

任命
同意

農業委員の任命

農業委員12名を任命することについて、議会の同意を求められ全員賛成で同意した。

任期 3年（令和8年7月20日～令和11年7月19日）

行政区	氏 名	新・再任の別
衡 上	石 川 良 昭	新任
衡中東	渡 邊 順 一	新任
衡 下	佐 野 清 美	新任
大瓜上	石 川 儀 郎	新任
大瓜下	中 川 篤 志	新任
駒 場	跡 部 勉	再任

行政区	氏 名	新・再任の別
大 森	吉 田 和 也	新任
奥 田	大 石 明 宏	新任
蕨 崎	千 葉 悦 子	再任
松 原	菱 沼 達 也	再任
衡 東	関 内 秀 樹	再任
衡 上	細 川 美奈子	再任

7月臨時会

財産
取得

小・中学校タブレット更新



タブレット端末購入

問 入札参加は何社か、購入台数の根拠、納入時期は。

答 1社の随意契約であり県内共同購入するもの。購入台数は5月1日現在の小・中学校児童生徒数515台と予備77台である。

納入期限は令和9年2月26日である。

主
な
質
疑

専決
報告

クマ対策に 1,500万円

クマ対策

問 クマ対策の事業内容は。

答 柿の木伐採経費であり、前年度申し込みの残分が187本、今年度申し込みが98本、合計285本の伐採を予定している。

問 財政調整基金繰入金が必要経費のみ取り崩すべきではないか。残額分を予備費に追加補正するのは予算編成において適切か。

答 基金からの繰り入れは通常1千万円単位であり、今回2千万円を繰り入れて、残額は予備費に追加する。

一般 質問



7名の議員が村政を問う

質問者一覧表

鈴木 和 信

- ・毎戸にタブレット導入の検討を
- ・防災・減災に強い村づくりを
- ・農業機械バンクの創設を

小 川 克 也

- ・樹木粉碎機等の貸出拡充を
- ・クマ・防犯対策に防犯カメラ設置等の強化を

早 坂 美 華

- ・太陽光発電施設設置にともなう村への影響と対策は
- ・学校周辺に防犯カメラの増設を

石 川 敏

- ・学校教育の課題へどう取り組んでいくのか

文 屋 裕 男

- ・小・中一貫校の実現はあるか
- ・村道大原下原線の改修を望む

赤 間 しづ江

- ・無線放送の内容のあり方検討を
- ・人材育成基金の活用策は

佐 野 英 俊

- ・キャンプ場の利用状況を問う
- ・地区計画の進捗状況を問う

＝ 議会を ＝ 傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は

9月1日(火)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局

☎345-6030

✉ gikai@village.ohira.miyagi.jp

※会議録は大衡村議会ウェブサイトで閲覧できます。

毎戸にタブレット導入の検討を 現時点では考えていない



鈴木 かずのぶ 議員

無線放送からタブレットへ

問 無線放送の更新を迎えるが聴く時代からいつでも見られる情報化社会に対応する複合型タブレットの検討をしては。

村長 スマートフォンや携帯電話への情報発信が現実的である。

問 防衛の基幹的設備であり、予算的には2千台買って村民が使いこなせることができれば、メリットは大きいのではないか。

村長 維持費等は村の負担となり導入以降もお金がかかる。

ウェブサイト利用

問 公式のSNS・ウェブサイト等の登録者数や閲覧者数は。

村長 令和7年度は23万9千件の閲覧とSNS等2千人弱と多くの方に利用がある。

防災・減災に強い 村づくりを

人と物の両面で 支援する

問 地域防災リーダーの養成実態はどのように育成しているのか。

村長 現在98名の防災指導員を各地区に配置している。

問 地区の特色を生かしたハザードマップの作成をしているのか。

村長 地区ごとにハザードマップの作成を計画していく。

問 平成24年に配布した非常用持出袋のメンテナンスを村ではどのように考えているのか。また、補充や交換のチェックはどのようにしているのか。

村長 チラシ等を配布して家庭ごとに補充や交換をお願いしているため、村としては特にしていない。

農業機械バンクの創設を

村としては考えていない

問 農業機械を手放す農家と買いたい農家の橋渡しを支援する考えはないか。

村長 村としては考えていない。

問 農業機械が壊れて、やむを得ずリタイヤする兼業農家を支援しなければ、基幹産業の維持が難しいのではないか。

村長 主業的農家が62戸、副業的農家が196戸であるが、そのような要望はない。



まだ使用できる中古農機



おがわ かつや 議員
小川 克也

ウッドチップターの貸出拡充を 慎重に考えていく

貸出状況

問 環境保全と作業の効率化を図るための、ウッドチップターとリモコン式自走草刈機の貸し出し実績は。

村長 ウッドチップターは令和5年度27回、6年度24回、7年度21回。
リモコン式自走草刈機は令和5年度7回、6年度4回、7年度2回である。

円滑な運用

問 ウッドチップターは、申請者が多く予約待ちが発生している。台数や貸し出し期間を見直し、円滑に貸し出しができないか。

村長

購入してから8年が経過し、老朽化している状況でもある。今後の方向性を慎重に考えていく。

新規機器

問 リモコン式自走草刈機の利用者は年々減っている。雑草除去を目的とした新たな機器の支援に転換する考えはどうか。

村長 草刈り作業の省力化に向けて、どのような支援が良いか考えていきたい。

情報周知

問 Aカメラやクマ出没アラート機能を活用し、リアルタイムで住民へクマ出没情報を周知できないか。

村長 無線放送などで出来る限り迅速に周知喚起していきたい。

クマと防犯対策強化を 効果的な対策を検討したい

防犯対策

問 近年、侵入窃盗犯罪が急増している。対策として、家庭用防犯カメラ設置費用を補助する考えはどうか。

村長 県では防犯カメラの適切な設置と運用を推進している。村でも先進事例などを参考にしていきたい。

問 全国的にクマの出没や侵入窃盗犯罪が相次ぎ、過去に例をみないほど甚大な被害が多発している。安心して暮らせる村づくりの考えは。

村長 不安に思う住民が多い中、何が効果的なのか考えていきたい。



使用申込みが多いウッドチップター

太陽光発電の影響と対策は 住民の安全確保を最優先



はやさか みか 議員
早坂 美華

設置状況

問 本村における事業用太陽光パネルの設置件数は。

村長 本村で把握しているのは届出義務のある38件であり、全体数の把握はしていない。

問 トラブル等があった際の対応のため、全体数を把握する必要があるのではないかと。

村長 村独自の規制がないため、把握する方法がない。

環境保全

問 森林開発を行う太陽光パネルの設置は災害リスクがある。環境保全対策の考えは。



太陽光パネル周辺の適正な維持管理を

村長 県条例の考えに準じて、開発事業者に対し適切な対応を求めている。

問 自然豊かな大衡村を守るために条例や規制の必要性はないか。

村長 本村独自の条例は制定せず、関係法令に基づき環境保全や安全性の確保を図っていく。

学校周辺に防犯カメラを 慎重な対応が必要

問 小・中学校周辺の防犯カメラの設置状況と管理体制は。

教育長 小・中学校ともに敷地内に設置しており、学校の職員室で管理している。国道4号線の地下道にも設置しており、役場で監視している。

問 近年凶悪化する犯罪や増加する獣害リスクも踏まえ防犯カメラを増設できないか。

教育長 安心・安全を向上させる対策の一つだが住民のプライバシー侵害の懸念もあり、課題の整理と慎重な対応が必要である。



いしかわ
石川 さとし
議員

学校教育への取り組みは 村の宝である子どものために

不登校対策

問 小・中学校児童生徒の不登校者数などの現状と学校や教育委員会ではどのように対応しているのか。

教育長 令和7年度の不登校児童生徒数は、小学校が11名、中学校が22名である。学校では不登校の要因や背景を確認し、スクールカウンセラーや心のケアハウスと連携しながら、一人ひとりに対応している。

心のケアハウス

問 教育委員会では登校できない子どものためのケアハウス「ききょうルーム」を開設しているが児童生徒や保護者への支援状況とその成果は。

教育長

令和7年度の来所支援は小学生2名、中学生4名に行った。うち小学生1名、中学生2名が学校に復帰した。

学校での別教室登校も行いながら保護者への相談も引き続き対応していく。

学力向上

問 学力向上対策として村営の「大衡塾」を民間に委託しているが塾の実施状況や具体的な成果は。

教育長

塾は小学校4～6年生、中学校3年生を対象にして令和3年度から開設している。

参加者は夏期小学生が76人、中学生が79人であり、冬期は中学生22人で在籍児童生徒の約40%が参加している。

学力調査の結果、全国平均値との差も小さくなり学力向上につながっている。塾は今後も継続していきたい。

学校編成

問 本村における子どもの出生数は年々減少しており、小・中学校の学級編成も1学年1クラスとなってくると思われる。

今後の小・中学校の学校編成の在り方を検討することが必要ではないか。

教育長

児童生徒数は減少しており、将来的な小・中学校の再編に向けて教育委員会で検討を進めている。

村長

教育委員会や幼小中との連携のもと、村の宝である子どもたちのためににより良い教育に努めていきたい。

小・中一貫教育の利点は大きいと考えており、施設一体型の小・中一貫校や1年生から9年生までの義務教育学校の見学や情報収集を行い検討を進めていきたい。



楽しい学校生活を（大衡中学校スポーツフェスティバル）

小・中一貫校の実現はあるか 将来に向け検討している



ぶんや ひろお
文屋 裕男 議員

問 現在の大衡小・中学校の児童生徒数は。

教育長 令和8年度の小学校児童数は337人、中学校生徒数は178人である。

問 大衡小学校に今後入学する児童数は何人を想定しているか。

教育長 令和9年度44人、10年度32人、11年度33人、12年度26人、13年度21人、14年度19人を見込んでいます。

一貫校への移行

問 村内の小・中学校を一貫校に移行する考えはあるか。

教育長 将来的な小・中学校の再編に向けて教育委員会で検討や議論を進めています。

る。本村は小学校1校、中学校1校のため小・中一貫教育の利点は大きいと考えている。
移行時期は新たに校舎の新築や改修を行う場合は6〜7年を要する見込みである。
一貫校としてのメリットが大きいと判断した場合は、2〜3年後に移行することも考えている。

校舎建設財源
問 一貫校として校舎を建て替えた場合の財源の見通しは。

教育長 校舎を新築や増設する場合は国の補助金の対象になる。補助率は2分の1であり、残りは村負担となる。



改修が望まれる村道大原下原線

村道大原下原線の 改修工事を

財源を見て 検討する

問 村総合計画の実施計画に本路線の改良工事計画があったが工事がまだになされていない理由は。

村長 第6次総合計画の実施計画の対象になっていたが、毎年の検討の結果計画年度が先送りされてきた。先日地区の方々から改めて改修を望む要望書が提出された。

問 本路線は駒場と大森を結ぶ生活道路である。改良工事の早期着手ができないか。

村長 村全体の村道路線の維持管理については、地域の実情や必要財源の確保などを総合的に検討し対応していく。



あかま 江 議員
赤間しづ江

無線放送のあり方検討を 現時点で変更は考えていない

放送内容のあり方

問 有線放送から無線放送

になったのは昭和54年で、その歴史は50年になる。放送設備老朽化のため、令和9年度に施設設備の更新が計画されている。

住民生活も多様化しており、この機会に放送内容のあり方を検討する考えは。

村長 定時放送時刻等は、

「大衡村無線放送施設管理に関する規則」で定められているものである。

住民から特段の意見はなく定着しており、放送時刻や内容について現時点での変更は考えていない。村民にお知らせしたい内容を中心としており、今後とも正確で分かりやすい放送に努めていく。

ガイドライン

問 広報、HP、SNSな

どお知らせの媒体は多種多様で、どこでも瞬時に情報を得られる時代である。防災無線本来の目的に沿った放送内容のガイドラインを検討してはどうか。

村長

防災行政無線は防災、応急救助、災害復旧を主たる目的とし、平常時には一般行政事務に使用できる無線局と定義されており、ガイドラインは定めていないが、これに沿って運用している。



放送開始から50年になる無線放送

人材育成基金の 活用策は

委員の意見を 参考に検討

問 基金を活用した事業の実施状況は。

村長 大衡中学校の修学旅行に合わせた芸術鑑賞、テ

ーブルマナー講座費用として活用されている。

豊かな表現力、社会人としてのマナーを学び、生徒からも好評を得ている。

問 基金の目的を最大限生かし、どう活用を図っていくか。

村長 今年1月に開催され

た人材育成基金運営委員会では、中学校部活動への助成、学術分野、若手の人材育成の補助、震災の現地見学、友好都市金ヶ崎町との交流などの意見があった。これらを参考に有効な活用策を検討したい。

キャンプ場の利用状況は 想定以上に伸びていない



さの ひでとし
佐野 英俊 議員

事業費

問 万葉クリエートパーク
キャンプ場の整備事業費は、

村長 令和4年から事業期
間3年で総額6532万円
となった。

問 計画の事業費は395
0万円ではなかったか。

村長 計画は設計に950
万円、工事費が3000万
円であったが、トイレの整
備費などを追加した。

利用状況

問 令和7年度の目標利用
者数と実績は。利用実績の
指定管理料への影響は。

村長 利用者数の目標は、
3600人で実績は352
人であった。指定管理料は

契約期間5年間は固定で、
利用実績は影響しない。

問 利用実績が少なすぎる。
利用見込みなど試算に甘さ
があったのでは。

村長 コロナ禍で一人キャ
ンプがブーム化していた時
期での計画であった。今後、
計画と実績を検証し、キャ
ンプ場の在り方について検
討する。



利用増が期待されるキャンプ場（入口ゲート周辺）

※指定管理料

施設の管理運営を民間事業者
や第三セクターなどの団体
（指定管理者）への管理運営
に対し、村が支払う運営経費

地区計画の 進捗状況は

五反田・

亀岡地区は

来年1月着工か

五反田・亀岡地区

問 五反田・亀岡地区の民
間事業者開発の進捗状況は。

村長 開発事業者が用地の
境界立ち合いを実施し、県
との関係協議・許可を受け
令和9年1月の着工を目指
していると聞いている。

座府・河原地区

問 半導体企業進出の白紙
撤回により、県との協議が
進んでいない座府・河原地
区の地区計画のその後は。

村長 計画内容を軌道修正
せざるを得なく、国道4号
拡幅後の開発や地域コミュ
ニティを維持するための地
区計画を改めて県と協議し
ている。

視察年月日：令和8年7月1日～2日

やまのべまち 山形県 山辺町



◆調査目的：議会活性化・議会改革

具体的な取り組み内容

- ・議会活性化特別委員会を設置（令和7年）
- ・町民アンケート調査を実施
- ・町長への政策提言
決算審査において政策評価と成果検証を行い、次年度への政策提言
- ・定例会ごとの一般質問のお知らせ
議会報告会のポスター掲示

◆調査結果

多くの行政課題について議会としての意見や要望を取りまとめ、統一した意思を政策提言していくことの大切さを改めて感じた。

◆調査目的：少年議会

取り組みの経緯

- ・若者に町への関心を持ってもらうため
- ・2003年から開始24年目
- ・少年町長、少年議員を公選で選出
対 象：町内在住の中高生、遊佐町への通学高校生
構 成 員：少年町長1名、少年議員10名
公選方法：立候補受付→投票→当選証書交付
議 会：年3回開催
内 容：所信表明、一般質問、独自政策、視察研修、事業報告

◆調査結果

早くから主権者教育に取り組み、若者の声をまちづくりに活かしている。18歳の町長選の投票率が71%と高く、継続の成果と感じた。

ゆ ざ まち 山形県 遊佐町



研修報告

産業教育

視察年月日：令和8年7月8日～10日

◆調査目的：特産品チャレンジ事業・有機農業

具体的な取り組み内容

- ・新商品（試作品）開発事業
- ・加工・包装機械導入補助（補助率1/2）
- ・ウェブサイト作成等支援
- ・有機農業の推進（消費者ニーズに対応）
- ・完全売り切りを目指す

◆調査結果

自ら顧客開拓し、コストは高いが無農薬・有機栽培を拡大。背景には安全安心の食料供給で顧客のニーズに合った新しい農業の原点を感じた。

秋田県 おおがたむら
大潟村



アイガモお仕事中（除草）

秋田県 だいせんし
大仙市



◆調査目的：新規就農者研修施設

具体的な取り組み内容

- ・新規就農者を全国から募集（令和7年度7名）
- ・これまで延べ121名就農
- ・農業次世代人材投資事業（165万円支給）
- ・環境保全米に積極的に取り組む

◆調査結果

コメの生産量全国2位、野菜・花・畜産と幅広い農業を展開、今後は果樹就農にも力を入れる。循環農業の先駆者であると感じた。

◆調査目的：スマート農業・環境保全米

具体的な取り組み内容

- ・生産の省力化・作業効率重視
- ・生産集団から農業法人の育成へ
- ・7施設のたい肥センターを有効活用した米づくり
- ・資材高騰からリタイアする農家も増えている

◆調査結果

慣行栽培と環境保全米の価格差が少なく、生産者のメリットが少ない。市の支援金が少ないと感じた。

宮城県 とめし
登米市



視察年月日：令和8年7月15日～17日

行政視察

◆調査目的：デマンド型交通

具体的な取り組み内容

- ・町民であれば誰でも利用可能
- ・平日4台／土日祝3台で毎日運行
- ・利用料金 乗合大人300円/子供100円
- ・運行委託料/利用人数
3,973万円/27,200人

◆調査結果

本村の委託料と比較すると、利用対象者の範囲、運行日、運行台数のいずれにおいても高いサービス水準を確保している。

青森県 ちよう おいらせ町



青森県 みさわし 三沢市



◆調査目的：基地と共存するまちづくり

具体的な取り組み内容

- ・米軍/約8000人居住
- ・障害防止工事、住宅防音工事、移転補償等
- ・基地関係交付金/年間約35億円

◆調査結果

国補助金等を確保し、教育や福祉、生活基盤整備を推進し、民生安定策を構築している。

◆調査目的：子ども子育て

具体的な取り組み内容

- ・修学旅行費補助 小学生6万円/中学生12万円
- ・入学支援金 小学生5万円/中学生7万円/高校生6万円
- ・高校生通学費補助 年間5万円
- ・受験生灯油購入補助 中学3年生へ3万円

◆調査結果

0歳から2歳児保育料無償化も加えて、その他子育て支援が充実しており、県からの補助金も手厚く、子育て支援策を強力に推進している。

青森県 なんぶちよう 南部町





大衡小学校 6年
たきぐち こうき
滝口 煌季 さん

水泳大会を目指して

わたしの将来の夢は、水泳選手です。

水泳を始めたのは生後5か月くらいの時で、それから今までずっとがんばって続けてきました。

途中で嫌になったり、苦しくなったりしたこともありましたが、水泳をやめたいと思っただことはありません。つらい練習に耐えてがんばってきただからこそ、絶対に叶えたい夢なのです。

これからも、どんなに苦しくてもきつくても、あきらめずに県大会入賞を目指して練習をがんばりたいと思います。



大衡中学校 2年
ほりごめ せいら
堀籠 星羽 さん

ITエンジニアに

私の将来の夢はITエンジニアになることです。小学校高学年の時独学でプログラミングを始め、コードが動いた瞬間に感動しました。

わたしの夢

今はJavaという言語でメインクラフトサーバープラグインを作っています。エラーだらけで何時間も悩むこともありませんが、完成したときの達成感がたまりません。

この経験を活かして、将来は多くの人に使われるシステムを作るエンジニアになるために、これからも努力し続けます。

「食べたい野菜は自分で作る」

46年間の会社員生活を卒業して2年が過ぎましたが、職種が育苗培養土の開発部門だったので、野菜、花、特用作物などの育苗を経験できた事は貴重な技術的財産になっています。特に珍しい作物への好奇心は人一倍旺盛なので、食べてみたい作物には片っ端からチャレンジした結果、農業をしている現在でも一番のお気に入りはやっぱ落花生ですネ。

収穫後の乾燥、調整は面倒ですが、栽培の手間が掛からず食味は最高です。特に茹で落花生は極上ですよ。

ニンニク、そら豆、生姜、セロリもお奨めです。又、果樹は耐寒性を考慮すれば皆様に推奨できるのは、ブルーベリー（ジャムが最高）、柚子（調味料は勿論、冬場の柚子風呂はいいですよ）。皆さん大衡村の恵まれた自然環境を最大限有効活用して、庭、畑の片隅で何か珍しい野菜、果樹に挑戦してみませんか。楽しいですよ。

みんなの声



野菜作りは楽しいですよ！

衡上

早坂 正徳さん
はやちか まさのり

表紙写真

ふるさと美術館でジャズコンサートが開かれ多くの人が訪れました。ピアノとベースの軽快なリズムにゆったりとしたひと時を過ごしました。

あとがき

梅雨に入ってから日本列島各地で大きな地震や台風、豪雨による被害が発生しています。

普段から災害へ備える取り組み、防災意識を持つことが、大切な命を守ることにつながるものと感じます。

石川 敏

大衡村議会

広報広聴常任委員会
委員長 赤間しづ江

広報分科会

会長 石川 敏

副会長

小川 克也

委員

鈴木 和信

発行責任者

議長 高橋 浩之

〃 山本 信悟

〃 早坂 美華

〃 信悟

